

## 令和6年度第1回萩警察署協議会会議録

開催日時	令和6年6月28日（金） 午後3時00分から午後4時30分までの間	
開催場所	萩警察署3階 講堂	
出席者	委員	内田委員、椋木委員、岩本委員、白松委員、山影委員、山本委員、大田委員、榎谷委員 <span style="float: right;">計8名</span>
	警察署	署長、副署長、主幹、警務課長、生活安全課長、地域第一兼第二課長、刑事課長、交通課長、警備課長 <span style="float: right;">計9名</span>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所管業務説明</li> <li>2 警察職員採用募集活動の推進</li> </ol>	
<p><b>1 会長挨拶</b></p> <p>萩警察署では、今春の異動で署長をはじめ多くの方が変わられたということで、心機一転の第一回警察署協議会となる。</p> <p>最近、テレビ等で様々な詐欺の手口が紹介されるなど、防犯意識がこれまで以上に高まっていると思うが、萩警察署の皆様におかれては、萩市民、阿武町民の安全安心を引き続き守っていただき、感謝申し上げます。私たち萩警察署協議会の一人一人の力は非常に小さいが、警察署の皆様と手を携えることで、市民や町民の安全安心がより一層守られていくのではないかと考えている。</p> <p>本日は一回目であるが、今までのように忌憚のない意見をたくさん出していただき、有意義な会議となるようお願い申し上げます。</p> <p><b>2 署長挨拶</b> (省略)</p>		

### 3 警察署幹部、協議会委員による自己紹介

(省略)

### 4 所管業務説明（各課長）

- (1) 生活安全関係
  - 犯罪抑止対策上の指定犯罪等の認知状況
- (2) 刑事関係
  - 刑法犯認知・検挙状況
  - 主な検挙事件
- (3) 交通関係
  - 交通事故発生状況
  - 人身交通事故の主な特徴

### 5 前回諮問事項に対する提言への取組状況（交通課長）

- (1) 高齢者の運転免許返納
- (2) 小中学校付近の横断歩道に対する優先的な塗り替え要望
- (3) 目立たせる横断歩道
- (4) 休日における小中学生の自転車乗車時のヘルメット非着用
- (5) 危険運転情報
  - 横断歩道通過時
  - 高速運転車両

### 6 諮問事項説明（警務課長）

「警察職員採用募集活動の推進」をパワーポイントにより説明

### 7 協議・検討

#### 【警察職員採用募集活動の推進について】

#### （委員）

先日、幼い孫が巡回中のパトカーに敬礼をしたところ、乗車していた若い警察官が敬礼してくれたと、大変喜んでいました。子供たちにとって警察官はヒーローであり、憧れの存在である。幼い頃にパトカーや警察官と触れ合うことで警察に対する良いイメージが形成され、将来、警察官を目指すきっかけになるのではないかと。

私は以前、教員をしていたが、教員の世界も志望者が減少しており、大きな課題を抱えている。私が採用試験を受けた頃は、試験の倍率が5倍から10倍、教科によってはそれ以上であったが、今は2倍を切るくらいまで落ち込んでいる。県も色々と対策を行ってはいるが、教員の仕事に対して、「夜遅くまで仕事をしなければならない」「職員室の雰囲気が悪いのではないか」など、ブラック企業のようなイメージを持っている方も多い。こうした悪いイメージを払拭するため、夕

方以降は電話が繋がらないようにしたり、中学校の部活動を地域に移行したりして勤務時間の削減に努めるなど、学校現場も右往左往しながら子供たちと接しているようである。

**(委員)**

新規採用のため、警察で様々な努力をしていることが分かり、そのPR活動が隅々まで行き届いてほしいと感じた。

大学生、高校生等に向けた取組はしていると思うが、もっと幼い頃の経験なども将来の一つの選択肢につながると思う。私も中学生の頃に消防学校で宿泊訓練を経験したが、いまだにその記憶が残っているので、小学校高学年や中学校1年生くらいの時期が良いのではないか。

採用試験制度の説明で、多様な人材確保に向けた制度改革、特に資格加点制度は大変良いと感じたが、なぜ加点対象が柔道と剣道だけなのか疑問に感じた。例えば陸上経験者は走るのが得意であるなど、あらゆるスポーツでそれぞれ能力を発揮できる部分があると思うので、考慮してはどうか。

**(委員)**

私の身内に警察官がいるが、彼らは幼い頃から警察官になることが夢であり、また、私の同級生の多くが、将来なりたいと話していた職業に就いている。

保険会社が年一回行っている「将来の夢、なりたい職業」に関する昨年の調査では、警察官は、小学生が10位で、中学生、高校生はランク外である。10年前の調査結果は小学生が4位であり、順位が下がってしまったのは、リクルートの対象を高校生、大学生に絞っていることが大きな要因ではないか。こうした現状を踏まえると、高校生や大学生などより、「カッコいいもの」に意識が向く低年齢層への働き掛けが必要ではないか。

また、インスタグラムを活用して採用活動をしているとのことであるが、インスタグラムの特性を生かすためにも、まずは県警察の皆さんが登録して運用すれば、効果が上がるのではないか。

**(委員)**

現在、小学校や中学校では、キャリア教育の一環として職場体験をしているが、こうした体験を低学年の時からさせることが必要だと思う。自転車教室等、様々な機会を利用して、優しくて格好よく強い警察官のイメージを子供たちに植え付けていくことが必要ではないか。

**(委員)**

採用募集活動では、良い部分だけでなく、悪い部分も含めていかに警察官という職業をアピールできるのかが重要ではないかと思う。その上で、高校生や大学生、中学生など幅広い対象に対して色々な取組を行っていけば、徐々に成果が出てくるのではないか。

**(委員)**

現職の若手警察官が元気に楽しく仕事する姿をアピールしていけば、若者たちが警察の仕事に興味を持つのではないか。そのためには、良好な職場の雰囲気

作ることが大切だと思う。

**(委員)**

パンフレットについて、表紙は後ろ姿でどんな表情か分からないが、中に掲載されている警察官はさわやかな笑顔なので、こうした写真を前面に押し出していけば良いのではと思う。

**(委員)**

阿武町の中学校では、中学2年の夏休み時期に職場体験学習を行っており、警察署でも気軽に体験できたら良いと思う。

息子が高校生で就職に悩んでいた時、駐在所の方が警察官採用のパンフレットを持ってきて丁寧に説明してくれた。結局、就職にはつながらなかったが、すぐに来て話をしてもらったことは、親としては有難いと感じた。

高校生も給与は気になると思うので、警察に就職したいと思うくらいの手当が支給されたらいいのではないかな。

**(委員)**

警察署、消防署、税務署等を嫌う人間は多くいる。これらは執行権を持っているため、どうしても厳しいイメージがあるのではないかな。

子供たちに「大きくなったら警察官になりたい人いますか」と尋ねるが、なかなか手が上がらないし、消防について尋ねても、同じくなかなか手が上がらない。上下関係など規律が厳しい仕事は難しく考えられているように感じる。もう少し開けた職場を見せることによって、多少は子供たちのイメージが変わってくるのではないかな。

**(委員)**

リクルーター制度、これは大変いいと思う。母校に行って在校生に直接語りかけることは、最高の取組だと感じた。

また、種まき作戦について説明を受けたが、地域のイベントについて申し上げると、毎年、萩中央公園で「キッズフェスタ」というイベントが開催されている。私は、少年相談員としてこのイベントに携わっているが、高校生と大学生のボランティアが100人参加しており、見物客も約1200人集まる。過去には、ボランティアの中に警察希望の方がいて、萩署員がパンフレットを渡したというケースもある。今年は9月29日の日曜日に開催し、100人程度のボランティアを募集する予定である。イベントには警察のブースを設けるが、ボランティアの方にもパンフレットを配付してはいかかがか。

**(警務課長)**

貴重なご意見をいただいた。

資格加点制度における対象資格の拡大に関する提言については、県警本部担当課に伝え検討してまいりたい。

また、中学生や小学生に対する職場体験等については、今後も前向きに取り組んでいきたいと考えている。

## 【その他】

### (委員)

県道、私道に設置されているカーブミラーについて、ミラー部分が汚れて非常に見えにくい箇所があるのでお伝えする。

### (交通課長)

警察では、標識等について年一回は点検するようにしているが、「木の枝が掛かっている」等の情報を頂くこともあるので、こうした情報には速やかに対応したいと考えている。

先ほど情報提供のあったカーブミラーは自治体等の管理だと思うので、参考情報として管理者に伝えることとする。

### (委員)

4～5日前、警察署員の方が私方に来られた際、「子供の見守り隊として活動している妻が周辺の子供に対して、車から大きな声で怒鳴る人がいた」と話したところ、翌日から交番の方が来てくれた。その日に限って車は現れず、その後も車は現れていないが、パトカーが赤色灯をつけて姿を見せたことで現れなくなり、感謝している。これからも子供たちの通学などをパトロールしてほしい。

## 8 配付資料

令和6年度第1回萩警察署協議会資料（警察署作成）

## 9 その他

令和6年第2回目の開催は、概ね10月中旬から11月上旬の開催予定とした。